

JICA地球ひろば(市ヶ谷)

2月2日(日) 学校教育について考える公開セミナー



SDGs、国際協力、多文化共生をテーマに、学校教育についての公開セミナーを開催する。基調講演では「NHKワールド」シニアディレクターの道傳愛子さんを迎え、テーマに沿った話を聞くことができる。またセミナー後半では、実際にSDGsの視点を取り入れた授業を行う先生たちが、それぞれの取り組みを紹介する。学校教育に関心のある方にお薦めのイベントだ。

●公開セミナー「未来を拓く道しるべ-SDGs ~多文化共生、SDGs視点を取り入れた授業実践からの学び~」
日時：2020年2月2日(日) 10:00~13:00
会場：JICA地球ひろば2階・国際会議場 東京都新宿区市谷本村町10-5
入場無料、要事前申し込み。
詳細はJICA地球ひろばまで。(TEL: 03-3269-2911)

あわせて
こちらも!!



国際協力の体験型展示

「人間の安全保障」とは、人びとが安心して生きることができ、さらにその生活が人間らしいものであることを目指す概念。貧困、保健、医療、紛争、教育、水など途上国が抱える問題を取り上げた展示を行う。また、人間の安全保障の実現に尽力し、2019年10月22日に亡くなった元JICA理事長の緒方貞子さんを人間の安全保障とともに紹介するブースも設けている。

●基本展示「人間の安全保障展
—世界の幸せと悲しみ—」
会期：2020年1月21日(火)~
5月15日(金) 10:00~20:00
(土・日・祝日は18:00閉館)
会場：JICA地球ひろば
入場無料、事前申し込み不要。
詳細はこちら/

JICA関西(大阪)

2月2日(日) さかなクンと一緒に海の環境問題を考えよう



西日本最大の国際交流、国際協カイベント「ワン・ワールド・フェスティバル」。今年は東京海洋大学名誉博士であり客員准教授のタレント・さかなクンがJICAの企画でセネガルやブラジルを訪問した際の体験談など、クイズも交えたトークをくり広げる。その他、JICA関西ブースやステージなど2日間にわたってさまざまなプログラムが予定されている。

●お魚でギョギョギョッと!つながる世界と日本 さかなクントークショー
日時：2020年2月2日(日) 10:00~11:00(開場9:30)
会場：カンテレ扇町スクエア内 なんでもアリーナ 大阪府大阪市北区扇町2-1-7
●ワン・ワールド・フェスティバル
日時：2020年2月1日(土)、2日(日) 10:00~17:00
会場：カンテレ扇町スクエア(1階)、北区民センター、扇町公園 大阪外口堺筋線「扇町」駅地下連絡路直結
入場無料、トークショーは当日先着順。
詳細は「ワン・ワールド・フェスティバル」のウェブサイトまで。
詳細はこちら/

2月16日(日)

JICA中部(なごや地球ひろば) みんなで学ぶ国際理解教育

JICA中部の開発教育指導者研修(実践編)と教師海外研修に参加した先生たちによる成果報告会を開催する。「研修の成果をどう現場に生かしたか」、「実践の成果と課題は何か」などの体験談を聞くことができる。また、ポスターを使った実践事例の紹介や、SDGsを題材としたワークショップなど参加型の報告会となっており、開発教育に興味や関心があれば誰でも参加できる。



●開発教育・国際理解教育 実践報告フォーラム2020
—ヒントが見つかる!仲間に出会える!—
日時：2020年2月16日(日) 10:00~15:50(開場9:30)
会場：JICA中部(なごや地球ひろば)2階セミナールーム 愛知県名古屋市中村区平池町4-60-7
入場無料、要事前申し込み。
詳細はJICA中部まで。
(TEL: 052-533-0220)



©Channel 4 Television Corporation MMXIX

2019年/イギリス、シリア/100分
配給：トランスフォーマー
2月下旬よりシアター・イメーションフォーラムほか全国順次公開。

若い母親は愛する人びとの生き残りを残すため、死となり合わせた毎日を克明に記録していく。2019年カンヌ国際映画祭では最優秀ドキュメンタリー賞ほか30を超える映画賞を受賞した。

平和を願う彼女の想いとは裏腹に内戦は激化の一途をたどり、美しくなった都市は破壊されていく。くり返される空爆、逃げまどう人びと、病院に運び込まれる無数の負傷者や遺体、血まみれの床の上で泣き叫ぶ家族たち……。

『娘は戦場で生まれた』
本作は、今なお内戦が続く中東シリアの首都アレッポで、一市民であるワド・アル・カテブさんが過ごした日常を記録したドキュメンタリーだ。彼女はジャーナリストを夢見る学生の間から、デモ活動への参加をきっかけにスマートフォンで撮影を始めた。戦禍の中、恋をして結婚し、娘を出産するまでの5年間を映し出している。

JICA横浜

ボリビアと日系人の関わり



2019年11月2日(土)~2020年2月2日(日)

ボリビア日本人移住120周年を記念して、企画展示を開催中。現在ボリビアでは、ラパス市やサンタクルス市などの大都市や戦後建設されたサンファン移住地、オキナワ移住地に大勢の日系人が在住し、その数は全国でおよそ1万3,000人と推測されている。彼らの歴史や生活がインタビュー映像を通して明かされる。

●ボリビア日本人移住120周年記念企画展示「ボリビアに生きる 一日系人の生活とその心」
会期：2019年11月2日(土)~2020年2月2日(日) 10:00~18:00
会場：JICA横浜 海外移住資料館 神奈川県横浜市中区新港2-3-1
入場無料、事前申し込み不要。
詳細はJICA横浜 海外移住資料館まで。
(TEL: 045-663-3257)

JICA中国(山口)

SDGs 紹介イベント 1月18日(土)

●SDGsってなに? in 山口
—世界のことをジモトゴト、ジバンゴトへ—
日時：2020年1月18日(土) 13:00~17:00
会場：ときわ湖水ホール 山口県宇部市大字沖宇部254番地
入場無料、要事前申し込み。
詳細はJICA中国まで。
(TEL: 082-421-6305)

山口県内でSDGsの理解を深めるためのイベントを開催する。SDGs推進に取り組む団体や企業、NPOなどが集まり、活動紹介のブースを出展する。また、吉本芸人によるトークショー、SDGsを題材としたカードゲームなど、楽しみながら学べる企画が盛りだくさんだ。



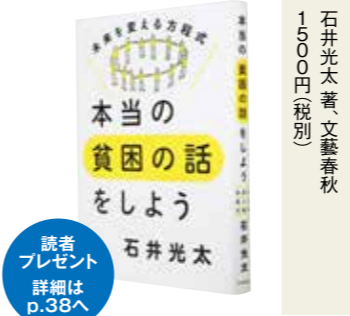
JICA北陸(石川)

1月25日(土) 世界の学校教育について話し合おう



国際理解を授業や教育に取り入れて実践している先生たちを招き、事例発表会を開催する。今回は4名の先生を迎え、モンゴルやアメリカを視察した経験や、現地の教育、民族融和などをそれぞれの視点で紹介する。参加者同士による意見交換や情報共有を通して、実践につながるヒントを得ることができる。

●「第3回 国際理解教育 勉強会」
日時：2020年1月25日(土) 13:00~17:00
会場：JICA北陸 会議室 石川県金沢市本町1-5-2 リファレオオフィス棟4F
入場無料、要事前申し込み(当日受付可)。
詳細はJICA北陸まで。
(TEL: 076-233-5931)



読者プレゼント
詳細はp.38へ

石井光太著 文藝春秋 1500円(税別)

『本当の貧困の話』
格差の固定化、少年犯罪、メカスラム、ストリートチルドレン、人身売買、売春、薬物依存、世界各地の少年兵……国内外で起っているさまざまな社会問題と貧困は密接な関係があるという。
本書は、そのような問題をテーマとする執筆活動や教育現場での講義を多く行っている石井光太さんが、17歳の読者に向けて貧困を主題に講義形式で書き下ろしたものだ。貧困家庭で育つとはどういうことか、事例や事件等のエピソードをおりまぜながら、負の連鎖が起きる仕組みを伝えている。
図やイラストも多く、大事なキーワードとなる部分にはアンダーラインが入っているなど読みやすい工夫もあつて、貧困の入門書として格好の一冊。

BOOK
『本当の貧困の話』
未来を変える方程式

本と映画の
新着情報